

## News Letter



No.21

2025年3月  
発行

2024年4月27日 楢野川河口干潟再生活動 集合写真

## お知らせ

## 椹野川河口干潟再生活動の参加者が増加!

春の椹野川河口干潟再生活動について、今年度は、2024年4月27日(土)に開催されました。

参加者は186名と昨年より増加し、多くの方々の協力・連携により、アサリ保全活動などに取り組みました(網袋設置(238袋)、被覆網の撤去・設置、アサリ調査等)。

また、干潟耕耘を5年ぶりに実施したほか、試験的な取組として、カブトガニの産卵場造成(護岸への砂の移送)を行いました。

引き続き、協力者を獲得しながら、活動を活発化していきます。

開催日:2024年4月27日(土)

参加者:186名

主 催:椹野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所、  
椹野川河口域・干潟自然再生協議会

協 力:あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、(株)伊藤園山口支店、  
積水ハウス(株)山口工場、水産大学校、山口大学

備 考:ふしの干潟いきもの募金支援対象事業

干潟耕耘、カブトガニ産卵場造成



## ブルーカーボンWGが新たな取組を実施

令和4年度に設立したブルーカーボンWGが、今年度、新たな取組を実施しました。

※(一財)山口県環境保全事業団助成事業

## ● アマモ場造成

2024年5月9日、ロープ式下種更新法という手法により、  
アマモの花枝を採取、アマモの少ない箇所に設置しました。  
2025年1月時点で、新たなアマモの実生が確認され、ア  
マモ場造成の取組の効果と考えられます。

## ● アマモ場見学会

2024年11月4日(7月7日から延期)、一般の参加者を  
募ってアマモ場見学会を行いました。  
船の上から、水中カメラや箱メガネを用いてアマモ場を見て  
もらい、参加者の方にも好評でした。



## 他団体からの視察を受入れ

相生湾自然再生学習会議(兵庫県)、荒尾干潟保全・賢明利  
活用協議会(熊本県)から依頼があり、視察を受入れました。  
他団体と交流したことにより、互いの活動の参考になりました。



# 自然再生活動の記録

## カブトガニ幼生生息調査・生物観察会

山口カブトガニ研究懇話会の原田代表がグループリーダーを務めるカブトガニWGでは、山口大学やボランティアの協力を受け、千潟の幼生生息調査を行っています。

今年度、長浜での調査・観察会は、台風10号の接近により、一般の参加者を募っての実施は見送ることとなり、実施日を延期して、協議会委員やファンクラブ会員等関係者のみで、調査レーンを半分に絞って実施しました。長浜に続けて、南潟でも調査を実施しています。



### 長浜

開催日:2024年9月17日(火)

参加者:24名

主 催:椹野川河口域・千潟自然再生協議会

協 賛:あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店

備 考:ふしの千潟いきもの募金支援対象事業

※調査のみ

### 南潟

開催日:2024年9月18日(水)

参加者:14名

調査のようす



\*南潟: 2018年のみライン6 (300m) を実施、長浜: 2020年は雷雨中断

## 椹野川河口千潟再生活動2024 夏

一般の参加者を募り、春の椹野川河口千潟再生活動で設置した網袋の開封・稚貝放流を実施しました。

網袋26袋を開封し、回収したアサリ(重量約2.6kg、推計約2,500~3,000個)を被覆網の下に放流しました。

なお、当日は、気温35℃超えの厳しい暑さであったため、活動時間と内容を縮小して実施することとなり、春に設置した網袋(238袋)の開封率は11%にとどまりました。



開催日:2024年7月20日(土)

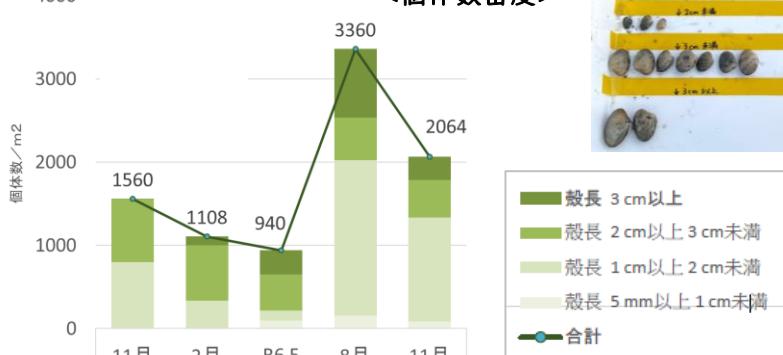
参加者:49名

主 催:椹野川河口域・千潟自然再生協議会

協 力:山口大学、ふしの千潟ファンクラブ

## アサリのモニタリング調査

### 2023.9放流後のモニタリング調査結果 <個体数密度>



アサリの生育状況を確認するため、定期的に個体数と大きさを調査しています。

2022年に台風で被覆網がはがれ、アサリが大きく減少しましたが、今年度は一部のエリアで自然増加が見られました。

また、昨年度網袋の稚貝を放流した箇所では、アサリが一定数保たれており、漁獲可能となる殻長3cm以上のアサリも確認されました。

活動が実を結び、来年度の春の千潟再生活動では、潮干狩りの実施が期待されます。

# クロツラヘラサギを守るために海岸清掃

絶滅危惧種であるクロツラヘラサギの飛来地である山口湾のうち、周防大橋西側から唐樋漁港前までを、93名の参加者で清掃しました。可燃ごみ75kg、不燃ごみ60kgの合計135kgを回収しました。

開催日:2024年6月29日(土)

参加者:93名

主 催:NPO法人野鳥やまぐち、榎野川河口域・干潟自然再生協議会

協 力:あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、

(株)伊藤園山口支店、新光産業(株)

備 考:(一財)山口県環境保全事業団助成事業



## 環境学習活動

### ● 小学校の総合的な学習との連携

今年も協議会の委員である、山口カブトガニ研究懇話会の原田代表と、水産大学校の南條先生と学生の協力を得て、山口市立二島小学校5年生の総合的な学習の時間と連携しました(6月・9月)。二島小学校との連携は7年目になります。小学校で行われた総合学習発表会では、干潟や干潟に生息する生き物の大切さについて、演劇と歌で発表してくれました。



### ● 野鳥の教室

協議会の委員である、山口市環境政策課とNPO法人野鳥やまぐちが、野鳥の教室を開催しました。

新光産業からら浜自然観察公園のレンジャーの解説を聞きながら、マガモやクロツラヘラサギなどを観察し、干潟ふれあいゾーンでは、トビハゼなどの干潟の生き物と触れ合いました。

参加した子どもたちは、生き物や自然を楽しんでいる様子でした。



## 自然再生協議会会議

2024年4月に第36回会議(対面)、2025年2月に第37回会議(ハイブリッド方式)を開催しました。

第36回会議では、第11期委員や新会長(山口大学朝位教授)等について承認されたほか、2023年度の実績報告及び2024年度の募金支援対象活動の方針案等についての協議、午後からの干潟再生活動の説明などを行いました。

第37回会議では、2024年度の協議会の活動概要の報告のほか、協議会委員から、調査研究や実績報告等の発表をいただきました。意見交換や提案など活発な議論の場となりました。



## 活動への支援ありがとうございます

今年度も多くの方から、心のこもったご寄附をいただき、感謝申し上げます。「ふしの干潟いきもの募金」として運用し、保全活動や調査、環境学習などに活用させていただいております。

また、今年度は、新たな寄附付き商品の展開として、春の干潟再生活動において、アサリ保全活動に使用する網袋とふしの干潟せんべいをセットにして販売し、準備した50セットすべてをお買い上げいただきました。

さらに、企業様・ふしの干潟ファンクラブ・一般のボランティアの皆様など、多くの方々に活動にご参加いただけております。重ねて感謝申し上げます。

### ご寄附をいただいた団体

あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店  
榎野川漁業協同組合  
山口県職員会館(県庁売店)  
道の駅仁保の郷 他

※五十音順・敬称略



あいおいニッセイ同和損害保険(株) 様

榎野川漁業協同組合 様

# 椹野川流域の活動紹介



- 椹野川源流の碑 @荒谷ダム  
流域連携のシンボルの碑を新たに設置  
【椹野川流域連携促進協議会】
- フシノのお殿様・お姫様 @山口駅  
工芸品「大内人形」を模した流域連携のシンボルを設置  
【椹野川流域連携促進協議会】

- 森林保全 @マロニエの森  
森・川・海の保全団体の冬季交流活動  
【椹野川流域活性化交流会】
- 森林保全 @宇津木の里  
7haの森林を活動拠点として森林体験イベントなどを実施【宇津木の里】

- 四季の森の整備  
椹野川の源流を守る会が市に寄贈した森林を整備【仁保自治会】



- ホタルの生息環境保全  
草刈りや河川清掃などを実施  
【一の坂ほたる広場の会】

- ヨシ焼き  
きらら浜自然観察公園内のヨシ原を焼き払い、野鳥等の生息環境を保全  
【新光産業きらら浜自然観察公園】

- ナルトビエイ駆除 @百間橋  
漁業に深刻な被害を与えるエイを駆除  
【椹野川千潟を守る会(椹野川漁協)】

- 環境学習活動  
バードウォッチング、あさり姫プロジェクト、千潟の生き物観察会等の学習会を開催  
【環境学習WG・市環境政策課等】

- 希少鳥類の保全事業  
負傷したクロツラヘラサギを保護し、野生復帰を目指す事業  
【NPO法人野鳥やまぐち】

- 千潟耕耘・あさり再生活動・海岸清掃  
生き物の生息環境を保全・再生するための活動  
【県漁協吉佐支店山口支所・椹野川流域連携促進協議会】

- ハーモニー朝市  
山口湾で採れた海産物などを販売  
【県漁協吉佐支店山口支所】

- 学術研究・環境調査・生物調査  
千潟環境や生き物の生態等に関する研究や調査  
【山口大学・水産大学校・瀬戸内海区水産研究所・県環境保健センター】



- 野鳥のモニタリング調査  
山口湾に飛来する渡り鳥等の飛来数を調査  
【NPO法人野鳥やまぐち】

- カブトガニ産卵・幼生調査  
夏季に産卵のために海岸を訪れるつがいなどを調査  
【山口カブトガニ研究懇話会・カブトガニWG】



## お問い合わせ先

椹野川河口域・千潟自然再生協議会 事務局 (山口県環境生活部自然保護課)  
TEL:083-933-3060  
FAX:083-933-3069  
Mail:a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

※ 会議資料やイベント情報等は、山口県自然保護課、山口市環境政策課のホームページで公開しています。

情報発信中!  
Facebook 県HP

